

令和 6 年 10 月 30 日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 布施 賢 司

## 研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので、報告します。

### 記

#### 1. 研修名

地方議会を変革する 生成 AI 活用 沖縄研修会  
～先進技術活用と県内議会改革に学ぶ～

#### 2. 受講の目的

生成 AI の活用に関する知識を深め、具体的な応用事例を学ぶ

条件：①PC・タブレットを持参できること（議会タブレット使用）

②ChatGPT4（無料版・有料版）が登録済みであること（無料版登録）

#### 3. 期間（移動日を含む）

令和 6 年 10 月 16 日（水）～令和 6 年 10 月 18 日（金）

#### 4. 経費 59,466 円

（経費内訳 受講料 5,574 円、旅費 53,892 円）

#### 5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

生成 Ai や ChatGPT を活用して議会質問の作成やブラッシュアップを諮る。

#### 6. 研修内容

（詳細は別紙のとおり）



## 【研修の概要】

・研修日程/場所： 10月17日(木)13時より17時30分 沖縄県青年会館

・主催/講師： 主催者、早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員

1～2 限目担当講師・ローカルマネージャー 青木 佑一、西川 裕也

3 限目担当講師・林 紀行（上記研究所の招聘研究員/日本大学法学部教授）

参加者 33 名、ワークショップ 3～4 名（A～I）、布施 F グループ

## 研修会のプログラム(運営方針)

- (1) 生成 AI である ChatGPT をどんどん使う
- (2) 間違えることはあまり気にしない
- (3) 出来ないところは助け合いながら進める
- (4) 生成 AI は使用回数に制限がある
- (5) 個人情報や機密情報は入力しない

## 1～2 限目：生成 AI の基礎、演習セッション



開催地・那覇市議会 宇根 良也議員挨拶



岡本議員 田畑議員 布施議員

## ChatGPT とは何か？（検索機能ではない）

- ・手前の文に、確率的にありそうな続きの文字をどんどんつなげていく AI
- ・蓄積したデータが増え、人間より偉そうな文章を生成できる用になった
- ・確率上一番ありえる回答＝無難な内容⇒適切な指示
- ・内容は、絶対に正しいとは限らない⇒ファクトチェック

## 地方議会で活用するポイント

- ・議会質問の項目づくり
- ・質問の原稿づくり：不明瞭な点等の洗い出し
- ・議会の答弁書の作成⇒答弁書を想定した質問づくり
- ・過去の議事録から、質問と回答を予測する⇒「模擬議会の質問・答弁」
- ・首長や執行部の回答⇒不足している点を明らかにする

## 地方議会が ChatGPT を利用する利点

- ・迅速な情報収集と分析
- ・多様な視点と提案の生成
- ・市民とのコミュニケーションの強化
- ・議事録の自動化
- ・政策立案の支援
- ・教育と学習の促進

## 生成 AI と ChatGPT の活用：演習セッション

- ・ ChatGPT を使って、議会の質問をブラッシュアップする⇒例題を各自治体に置き換えて
- ・ ChatGPT を使って、議会の質問事項と質問の文章を作成する⇒直近の一般質問で作成
- ・ ChatGPT を使って、首長と質疑応答を行う⇒作成した通常版と首長 bot 版の違い(例)

## 3 限目：社会変化に対応するための議会改革と生成 AI の活用

生成 AI—ChatGPT など⇒これから 2～3 年で、行政や議会、社会全体のあり方が根本的に変革する

- ・ 質問レベルの向上：質問力の向上＝議会力の向上
- ・ 新人議員もレベルの高い質問が可能：議員のなり手不足問題
- ・ 様々な視点によるチェックで議案審査が機能：追認機関からの脱却
- ・ 質問の作成時間を他のことに：政策立案機能の拡充

### 活用するには

- ・ 生成 AI の指針ルールがあるか
- ・ 生成 AI を搭載した PC、タブレットを議員が活用できるか
- ・ 生成 AI に関する研修会を議会（会派）として開催したか
- ・ 生成 AI を活用して質問を行った議員がいるのか
- ・ 資料の分析に生成 AI を活用しているか
- ・ 議事録の作成に生成 AI を活用しているか
- ・ ライブ配信で生成 AI を活用しているか

### 沖縄での研修の意義(那覇市議会の発表)

- ・ 地域特性を生かした AI 活用の可能性：沖縄の文化、経済、観光産業との関連性を考えた生成 AI の利用

### 参加者同士の対話・会場からの感想

- ・ 生成 AI の活用で文書を自分で考えて組み立てる時間が半分以上になり、他の資料を探したり深掘りしたりする時間に充てられる、議員が使わないのはもったいない
- ・ 行政業務の効率化
- ・ 観光産業のプロモーション

### 質問

- ・ GPT に頼り過ぎると、議員力が低下しないか
- ・ 現状では不正解な内容を生成する可能性があるのでは等



研修の仕上げ：付箋に感想や質問

### 研修会の感想

これまで ChatGPT の活用は検索作業で少し使っていたが、使い方が間違っていたことに気づかされた。私が「一般質問で求めているのは、どうやって前進回答を引き出すか」を心がけているため、今回、演習を通して具体的な使い方が習得できたことは、私にとっては大変良い研修会であった。さっそく 12 月議会で一般質問や質疑で取り入れられるところは取り入れ活用したい。また、同僚議員に対しても取り組んだ内容を共有していきたいと思った。